

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

京都府

行事名称	令和2年文化財防火運動に伴う合同消防訓練
実施期間・日時	令和2年1月24日(金) 10:00~10:30
実施場所	臨濟宗大徳寺派龍宝山大徳寺
主催者	京都市消防局

■実施内容

訓練の想定

大徳寺山門(金毛閣)から火災が発生、多くの参拝者や観光客があり、人命危険、他の棟への延焼拡大の危険が迫っているとの想定で実施。

訓練の内容

大徳寺自衛消防隊による火災発見後、直ちに通報を実施。その後、大徳寺門前文化財レスキュー、文化財防災マイスター及び消防団と連携しての初期消火活動(消火器、放水銃、屋外消火栓)、参拝者や観光客の避難誘導、文化財の搬出(重要物品:模擬)を実施、公設消防隊到着後、活動の引き継ぎを行い、消防隊等による人命救助活動等が行われた後、最後に自衛消防隊、文化財レスキュー、消防団及び公設消防隊による一斉放水を実施。

参加者及び役割分担

- 大徳寺自衛消防隊(約30名) : 火災発生を確認、119番通報等の初動活動、文化財搬出、避難誘導、屋外消火栓・放水銃を使用した放水
- 大徳寺門前文化財レスキュー(約10名) : 放水銃を使用した放水
- 文化財防災マイスター(約30名) : 避難誘導(避難者の役割も実施)
- 京都市北消防団(約10名) : 屋外消火栓、消防ポンプ車を使用した放水
- 京都市消防局(約40名) : 文化財搬出、消防用ドローンによる情報収集、画像伝送訓練、救出救護及び消防ポンプ車、はしご車による放水
- 訓練視察者 : 大本山大徳寺宗務総長 秋吉則州
京都市長 門川大作
京都市消防局長 山内博貴
- 来賓及び見学者 : 文化庁地域文化創生本部 石飛英人
京都府文化財保護課 森下衛
京都市文化財保護課 中川慶太
北区文化財市民レスキュー隊(8名)
近隣学区住民(約10名)
大徳寺保育園(約100名)

特に工夫した点

公設消防隊到着までの自衛消防隊等の活動を充実させるため、各団体間での連携が必要な役割設定のうえ、訓練参加者それぞれの役割を明確にし、目標時間を設定して、緊迫感を持たせた訓練を実施した。

問題点・課題

各自の役割は見事にこなされていたが、担当の役割以外についての認識が低く、流れるような訓練とはならなかった点が、今後改善できる。

その他

担当の市民レスキュー隊が参加するとともに、防火防災研修の一環として、北区の他の文化財市民レスキュー隊も訓練見学を行った。また参加者、見学者を対象に、訓練終了後、大徳寺の文化財鑑賞の時間を設けた。

訓練風景

